

## 地域の自立 ～地域通貨で 福祉のまちづくり～



左 渡邊 喜好 さん Kiyoshi Watanabe  
右 橋本 京子 さん Kyoko Hashimoto

## 城北地区街づくり ネットワーク「愛城」 あいじょう



毎年、盆前と正月前に行われる包丁研ぎ交流会の様子  
研いでもらう人も研いでいる人もとても楽しそうでした。

世話になったり  
したりするのは当たり前

地域通貨は、『円』や『ドル』  
などの公の通貨と違い、使用  
する地域や用途が限られた通  
貨のことを言います。

この地域通貨を使った福祉  
のまちづくりを実践している  
のが、今回ご紹介する「城北  
地区街づくりネットワーク愛  
城」のみなさんです。会員は、  
現在218人。地域通貨『城』  
を使って、さまざまな助け合  
い活動を行っています。

ネットワークを運営するの  
は、渡邊さんをはじめとする

理事12人とコーディネーター  
20人です。コーディネーター  
は、サービスを受けたい人と、  
サービスが提供できる人とを  
繋ぐパイプ役です。

理事長の渡邊さんは、「ぎ  
くしゃくしてしている今の社会  
を、昔のようにご近所同士、  
『世話になるのは当たり前』と  
世話をするのは当たり前」と  
いう気持ちで、助け合いなが  
ら暮らしていけるような、そ  
んなまちづくりができないだ  
ろうかと以前から考えていま  
した」と地域への思いを語り  
ます。

「そんな時、偶然ラジオで

地域通貨のことを聞いたんで  
す。これは面白い！それから  
いろいろ勉強しました。まず、  
研究会を立ち上げ、仲間づく  
りを行いました。先進地域の  
視察や話し合いを重ね、城北  
地区社会福祉協議会の中の1  
組織として「城北地区街づく  
りネットワーク愛城」を結成  
し、地域通貨を使った助け合  
いの活動が始まったのです」  
と結成の経緯を話します。

### お金で買えない

### 『善意』と『感謝』を交換

手助けしてもらったお礼と  
して支払う地域通貨『城』。会

員制で、会員になる時、城北  
地区公民館内にある事務局に  
会費として現金1000円支  
払い、『城』10枚を受け取り  
ます。

目安として、30分の手助け  
に対して『城』1枚をお渡し  
します。サービス内容で多い  
ものは、通院介助（病院への  
送り迎え）、ゴミ出し、包丁研  
ぎなどです。中には、「鯛のお  
刺身を作って」なんていうめ  
ずらしい依頼もあるそうです。

もちろん、自分のできる範  
囲で、何か手助けをすれば、  
手助けした人から『城』をも  
らえます。こんな風にして、



**いなば**  
**びよんびよんネット**  
アナログ 2ch デジタル 11ch

《9月の番組ガイド》

..... 鳥取市行政番組 .....

『こんにちは鳥取市です』【放送】毎週火・金・土

週2回の番組で、鳥取市の施策や事業の取り組み状況、各種行事、お知らせを紹介します。

【特集】

- ▷ 中心市街地活性化基本計画
- ▷ 定住促進Uターン相談支援窓口
- ▷ 重要文化財「旧美敷水源地」
- ▷ 台風など風水害に備え



旧美敷水源地

※9月定例市議会一般質問(10:00から生放送、19:00から再放送)  
火曜日は、週末に行われたイベントなどを中心に放送します。

静止画文字情報『鳥取市からのお知らせ』【放送】毎週金・土



イベント・募集・相談などの各種お知らせを、文字画面と音声でご案内します。

いなばびよんびよんネット  
自主制作番組

農業番組『いなばアグリタイム』【放送】毎週水・木

特産の二十世紀梨の出荷が最盛期を迎えた様子や、水稻の刈り取り適期の栽培技術情報などを紹介します。

地域情報番組『とっとりウオーキング』【放送】毎週日・月

食欲の秋に関する話題、市内各地で行われた運動会や長寿を祝う催しを紹介します。

手話番組『手話でコミュニケーション』【放送】毎週日・月

ニュースや話題、行事、お知らせを手話や字幕で紹介します。

お知らせ

いなばびよんびよんネットの番組が地上デジタルテレビでご覧になれます。設定や操作方法など、詳しくは下記にお問い合わせください。

情報をお寄せください!

いなばびよんびよんネット ☎ (0857) 22-6111

※放送予定は予告なく変更することがあります。

番組はホームページでも紹介しています。

<http://www.inabapyonpyon.net>



地域通貨『城』。  
裏面には、誰から誰に渡り、  
どういったことをしたかを記  
入するようになっています。  
現在 2500 枚の『城』が流  
通しています。

『城』が流通します。そして、  
コーディネートは、地域の  
中で、サービスを受けた人、  
提供できる人を結びつけま  
す。

理事で事務局も引き受けて  
大活躍している橋本さんは、  
「公民館で行われる書道や琴の  
教室に通うのにも『城』を使  
ってこられる人もいます。す  
よ。お年寄りからは、『これ  
なきや、やってけないわ』と  
言われることもあります」と  
にこやかに話します。地域通  
貨は、着実に生活の中に浸透  
しつつあります。

渡邊さんは、「私たちは、

お金で買うことのできない  
『善意』と『感謝』を『城』  
で交換しているんです。簡  
単なことでも、なかなか願  
いにくい今の世の中、『城』  
があれば、ちょっとしたこと  
でも頼みやすいし、お世話も  
してあげやすい。住民同士  
の距離を縮め、ちょうど良い  
距離を保ちながら、お互い  
気持ちよく暮らしていける  
仕組みが地域通貨なんです  
よ」と話します。

ふれ愛・たすけ愛・いかし愛

「城北地区街づくりネットワ  
ーク愛城」は、『ふれ愛・たす

け愛・いかし愛』をキャッチ  
フレーズに活動しています。  
ふれあうことで顔見知りにな  
り、一人暮らしなど、困って  
いる人を助け合い、足腰が弱  
り、何もできないと家に閉じ  
こもりがちのお年寄りに生き  
がいを持ってもらうため、い  
ろいろな知恵をいかしていこ  
う、という意味です。

渡邊さんは、「この3つの  
『愛』を繋いで、城北のまち  
をつくっていききたい。現在、  
会員は60〜80代の人を中心で  
すが、これを30〜40代まで広  
げるため、もっと活動の幅を  
広げないといけない」と今後

に意欲を見せます。「育児サ  
ークルで話す機会がある時、  
子育て中のお母さんに、地域  
通貨のことを紹介していま  
す。『城』は、美容院に行く  
間だけ子どもを預かってもら  
うときや、保育園の送り迎え  
などにも使ってもらいたらい  
いんです。一人でも多くの  
人に会員になってほしいです  
ね」と橋本さん。

子どもから高齢者まで、安  
心して、いつまでも過ごせる  
まちをめざして、「城北地区  
街づくりネットワーク愛城」  
の助け合いの輪はどんどん広  
がっています。